

JR 美祿線利用促進協議会

第3回復旧後の利用促進検討ワーキンググループ議事概要

1 日 時

令和6年1月30日（火）

2 会 場

美祿市役所別館 1階会議室 106

3 議 題

(1) 復旧後を見据えた利用促進策の検討について

復旧後を見据えた利用促進策のアイデア（方向性）を出し合った。

■主な利用促進策（方向性）

1 通学

- ✓ 駅から高校又は自宅から最寄駅までのアクセス強化
- ✓ 通学の支援策

2 観光

- ✓ インバウンドをターゲットとした施策
- ✓ 駅から観光地までのアクセス強化
- ✓ 山陽新幹線等からの乗継利便性の向上策
- ✓ 列車に価値を生み出す施策

3 まちづくり

- ✓ 駅舎等の拠点機能の強化
- ✓ 沿線居住誘導策
- ✓ 駅前広場の活用

ア 予算・実現性は一旦考慮せず、様々な利用促進策を提案。

⇒各団体

イ 少子化への対応として学校統合を検討する際は、美祿線利用を前提にした施設配置を検討してはどうか。 ⇒JR 西日本

ウ 観光やビジネスにおいてレンタカーが競合となる。レンタカー需要から美祿線に転換する施策が必要ではないか。 ⇒学識経験者

（追加意見）

エ 民間企業・団体の意見も取り入れるべきではないか。 ⇒山口県

(2) 代行バスの運行状況及び課題等について

別添資料のとおり代行バスの運行状況や課題等を共有した。

ア 代行バスの制約の中で改善に努めているが、復旧するとしても長期間かかる見通しのため、公共交通利用者を維持する取り組みが必要ではないかと考える。当協議会においても、代行バスの利便性向上策を検討してはどうか。 ⇒JR 西日本

今回のワーキンググループは、復旧後を見据えた利用促進策として短期的な施策と中長期的な施策についてアイデアが出た。

次回は今回出された意見に加え民間企業・団体の意見を踏まえた利用促進策及び代行バスの利便性改善策の検討を当協議会で取り扱うことの是非について検討することを確認し、第3回復旧後の利用促進検討ワーキンググループは終了した。